

三菱総合研究所、ASEAN Centre for Energy と共同研究契約を締結 産業影響分析に基づき経済成長と両立する脱炭素移行の提言活動を推進

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長:藪田健二、以下 MRI)は、ASEAN のエネルギー分野に関わる国際機関である ASEAN Centre for Energy (以下 ACE)と、3月13日、共同研究契約を締結しました。本契約に基づき、両者は ASEAN の脱炭素と経済成長の両立に向けた研究提言を推進します。

1. 背景

ASEAN 加盟国の多くが中長期的なネットゼロ(温室効果ガス排出量の実質ゼロ)への目標を掲げており、脱炭素と経済成長の両立に向けた現実的なトランジション戦略が強く求められています。

ACE は ASEAN 地域のエネルギー分野における国際機関であり、同地域全体のトランジションに向けたガイドを示す役割を担っています。2021年9月には旗艦レポートである第7次 ASEAN Energy Outlook を発表して、ASEAN の将来のエネルギー需給像を描いており、現在は第8次 Outlook の準備を進めています。

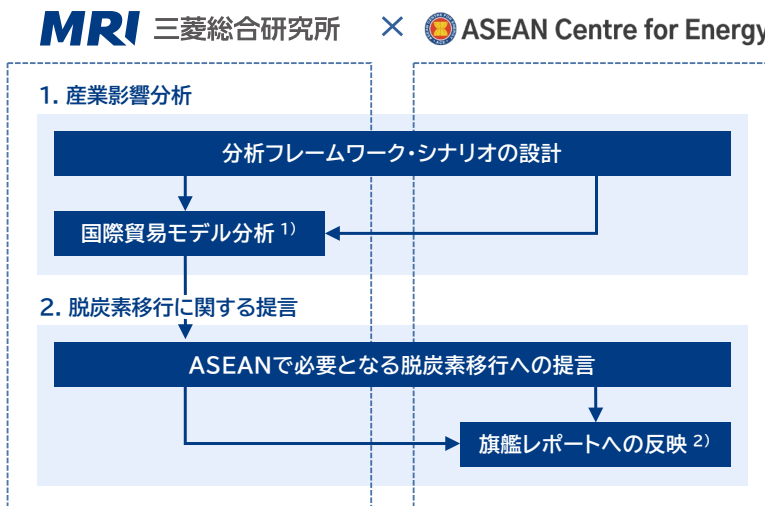
MRI は国内外で政府・企業の脱炭素関連の課題解決支援に取り組んでいます。ASEAN 地域でも脱炭素関連の政策立案支援・事業コンサルティングなどを手掛けており、その一環として、ACE との連携強化を図ってきました。

2. 概要

本共同研究契約では ASEAN の脱炭素と経済成長の両立に向けて、次のような活動を実施します。

- カーボンプライシングがもたらす ASEAN の産業影響分析(国際貿易モデルを活用)
- ASEAN の産業競争力の維持・強化の視点から必要となる脱炭素移行に関する提言

MRI・ACE共同研究の概要



1)国際貿易モデル: Global Trade Analysis Project (GTAP) モデル
2)旗艦レポート: 8th edition of ASEAN Energy Outlook (AE08)

MRI は、これまでの国内外における脱炭素関連の政策立案・事業支援の経験と、エネルギー・経済モデルを用いた独自の定量分析の知見を活用し、ACE は ASEAN 地域の実情を踏まえた専門知見を提供します。両者の強みを融合させることで、ASEAN 地域で必要となる脱炭素移行に関する共同研究を進めます。

3. 今後の予定

共同研究の結果は別途対外公表を予定しています。

MRI はこの取り組みを起点として、今後のMRIと ACE のさらなる関係深化とともに、日本および ASEAN 双方における脱炭素と経済成長の両立への貢献を目指します。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 石田、吉永、志田
メール:pec-asean@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

グループ広報部
メール:media@mri.co.jp

本資料は、経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ、環境省記者クラブ、環境記者会、および当社にてコンタクトのある記者の方々にもご案内しています。